

事業評価票

358	新海面処分場のしゅんせつ土減量化 (港湾局港湾整備部／一般会計)	事業開始	平成 28 年度
		事業終期	平成 33 年度

【局評価】

<p>1 どのような経緯で事業を始めたか、何をを目指すのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 過密化した東京にあっては、内陸部に廃棄物最終処分場を確保することが困難である。 ○ そのため、循環的利用のできない廃棄物等を適切に処分できるよう、中央防波堤外側埋立地の南側水域に新海面処分場を建設し、廃棄物やしゅんせつ土等の埋立処分を実施している。 ○ 新海面処分場は、23区内及び東京港内で確保できる最後の処分場であり、埋立面積は約480ha、埋立処分量は約1億2千万㎡となっている。
<p>根拠法令等</p>

<p>2 どのように取り組み、どのような成果があったか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新海面処分場は、全体を7ブロックに分けて護岸工事に着手しており、これまでに4ブロックの護岸整備が完了し、順次、埋立処分を実施している。 ○ 新海面処分場は、東京港最後の処分場であり、できる限り長く使用することが不可欠である。 ○ 新海面処分場の延命化対策として、海底地盤を掘り下げ容量を増大させる「深堀」や、埋立地盤及び海底地盤等の圧密沈下を促進させ、容量を増大させる「沈下促進」を進めている。 ○ 深堀や沈下促進により、平成27年度末までに、28年度における埋立処分量の約8年相当分の容量を確保した。

<p>3 どのような課題や問題点があったか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 埋立処分する廃棄物は、リサイクル・有効利用を図ることで、年々減量化しているが、しゅんせつ土は、概ね横ばい傾向である。 ○ しゅんせつ土の処分量実績は、廃棄物等の埋立処分量の約4割を占めており、有効利用を含めた更なる減量化が必要となっている。 ○ そこで、受入済のしゅんせつ土を改良して有効利用するための試験調査を実施し、埋立用材としての適性や減量化率等の検証を行い効果を確認できたが、本格実施に向けて、更なる検証が必要である。
--

<p>4 局として、事業をどうしていきたいか</p> <table border="1"> <tr> <td>拡大・充実</td> <td>見直し・再構築</td> <td>移管・終了</td> <td>その他</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○ 深堀、沈下促進に加え、しゅんせつ土の減量化に向けた取組を進め、新海面処分場の更なる延命化を図る。 ○ 受入済のしゅんせつ土について、高圧脱水処理により減量化して埋め立てるための実証実験を行い、本格実施に向けたコスト等の検討を進める。 	拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他										
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他											
<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">歳入</td> <td>27年度決算額</td> <td>— 千円</td> <td rowspan="3">歳出</td> <td>27年度決算額</td> <td>— 千円</td> </tr> <tr> <td>28年度予算額</td> <td>— 千円</td> <td>28年度予算額</td> <td>36,900 千円</td> </tr> <tr> <td>29年度見積額</td> <td>— 千円</td> <td>29年度見積額</td> <td>200,000 千円</td> </tr> </table>	歳入	27年度決算額	— 千円	歳出	27年度決算額	— 千円	28年度予算額	— 千円	28年度予算額	36,900 千円	29年度見積額	— 千円	29年度見積額	200,000 千円
歳入		27年度決算額	— 千円		歳出	27年度決算額	— 千円							
		28年度予算額	— 千円			28年度予算額	36,900 千円							
	29年度見積額	— 千円	29年度見積額	200,000 千円										

【財務局評価】

<p>5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新海面処分場には毎年多量のしゅんせつ土が運び込まれており、東京港内の最後の処分場として長期間の使用が可能となるよう、延命化を図る必要がある。
--

<p>6 29年度予算で、どのように対応したか</p> <table border="1"> <tr> <td>拡大・充実</td> <td>見直し・再構築</td> <td>移管・終了</td> <td>その他</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○ 従前から実施していた深堀や沈下促進に加え、高圧脱水処理による減量化の実証実験を行うものであり、新海面処分場の延命化に資する有効な取組であることから、要求額のとおり計上する。 	拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他			
<table border="1"> <tr> <td>歳入</td> <td>29年度予算額</td> <td>— 千円</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>29年度予算額</td> <td>200,000 千円</td> </tr> </table>	歳入	29年度予算額	— 千円	歳出	29年度予算額	200,000 千円
歳入	29年度予算額	— 千円				
歳出	29年度予算額	200,000 千円				